

奔潮

びわく

「アジアのにぎわい都市・大阪」をめざして 「アジア主要都市サミット」の開催

大阪府にぎわい創造部国際室アジア交流課

西川 英男

はじめに

大阪府では、平成18年3月に『アジアのにぎわい都市・大阪ビジョン』を策定し、「交流」、「協働」、「貢献」をキーワードに、アジアと大阪との結びつきを深め、活力と魅力あふれる「アジアのにぎわい都市・大阪」を実現するため、様々な取組をすすめています。

この一環として、去る10月25日（木）、26日（金）、アジアの持続的発展と都市魅力の向上を目指した都市間連携のネットワークづくりを行う国際会議「アジア主要都市サミット」を関西の自治体・経済団体と連携して、大阪国際会議場で開催しました。

この会議には、海外から北京・上海・江蘇省・遼寧省・香港・ソウル・釜山・シンガポール・バンコク・ホーチミン・デリーの代表団や企業、報道機関が来阪し、国内からも、大阪府・京都府・兵庫県・大阪市・堺市・京都市・神戸市が参加しました。

10月25日

○開会式

10月25日の開会式では各都市の代表が登壇し、主催者代表として太田知事が挨拶と開会宣言を行ったほか、福田内閣総理大臣と中国の温家宝国務院総理からのメッセージが披露されました。

○アジアの発展に向けた都市アピール

開会式に続いて、「アジアの発展に向けた都市アピール」では、釜山市長やホーチミン市長をはじめ海外からの参加都市代表が、観光・交流、経済、環



開会式



アジアの発展に向けた都市アピール

境・まちづくりなどのテーマについて各都市の魅力や強み、課題等についてプレゼンテーションを行い、一般の聴講者や来賓など延べ400名以上の方々が耳を傾けました。また、三輪副知事から関西を紹介するプレゼンテーションも行いました。

各都市のプレゼンテーションを通じて、アジアの中で魅力ある交流拠点となる都市をめざすためのヒントやアジアの都市がさらに経済成長を実現していくためのヒント、アジアの都市が経済成長と環境の調和のある発展をめざすためのヒントが示されました。

○二者間会談

参加都市の二者間等の会談も活発に行われました。府はホーチミンと友好都市提携を結んだほか、上海、遼寧省、北京と二者間会談を行いました。また、海外参加都市のうち4名の女性リーダーと太田知事が一堂に会し会談を行うなど、各都市との結びつきを深めました。大阪市も、釜山、上海と観光振興等について話し合う「釜山・上海・大阪 ゴールデン・トライアングル・サミット」を開催しました。

また、海外参加都市の間でも、釜山とホーチミン、ホーチミンと上海の間などで二者間会合が行われました。

○女性リーダー会談

今回の「アジア主要都市サミット」への海外参加都市のうちバンコク・香港・江蘇省・シンガポールの4都市の代表者が女性ということで、女性リーダーが一堂に会し、太田府知事と会談を行いました。出席者からは、各地域の女性を取り巻く状況、女性の活躍に向けた各自の体験も踏まえた考えや取組実績等が発表され、今後の取組についての提言もなされました。これを契機に、都市と都市だけでなくアジアで頑張る女性同士の新たなネットワーク拡大につなげていきます。



女性リーダー会談

○経済界との交流プログラム

夕方には、大阪の経済界との懇談会が行われ、各都市代表と大阪の経済界を代表する企業家の方々が出席されました。懇談会では、シンガポールの水対策などの具体的な意見をはじめ、互いのビジネスチャンスの拡大に向けて活発な意見交換が行われました。

○主要都市サミット、ゴールデン・トライアングル・サミット合同歓迎宴

夜には、「アジア主要都市サミット」と、「釜山・上海・大阪 ゴールデン・トライアングル・サミット」の合同レセプションが行われました。国内外の会議参加者、関西経済界、在阪総領事館等の関係者が出席されました。国内外の会議参加者は、関西ファッション連合（大阪きもの振興会）が主催する大会で選ばれた「きもの女王」や、今宮戎神社の福娘の方々の華やかな出迎えを受けた後、大槻能楽堂による能楽「石橋（しゃつきょう）」の上演を楽しまれました。最後は福娘による大阪締めで宴を終えるなど、出席者の方々は日本、関西の固有の文化も楽しまれました。

10月26日

○ラウンドテーブル

2日目には参加都市の代表によるラウンドテーブルが行われ、今回の会議の結果、海外からの11都市に、大阪・関西を加えた「ASIA 11+1（アジアイレブンプラスワン）」が都市間ネットワークとして、アジアだけでなく世界の調和ある発展に貢献していくことで一致し、「アジア大交流宣言」を採択しました。



ラウンドテーブル

○アジア大交流宣言

宣言では、「3つのE」（エコノミー（活力のある経済活動の実現）、エクステンジ（豊かな人材の育成と人的交流）、エンバイロメント（よりよい環境の

実現))の分野を中心に、共同して取り組むこととしており、今後、各都市が協力して「3つのE」の具体化に向け、ビジネス、交流、環境に関する様々なプロジェクトを展開することとしています。

○午餐会

また、会議終了後の午餐会では、昨年実施された、大阪の食材を使った料理コンテスト「アジアフードチャレンジ・おおさか10ドルランチ」の受賞作品もメニューとして登場しました。参加者は、泉州なすや水菜などを使った大阪ならではの料理を味わいました。

○視察

午後からは、産業、環境、ベイエリアの3つのコースに分かれて、視察が行われました。大阪のものづくりの高度な技術を見学していただく産業コースには香港の代表団が、大阪における環境問題への取組を視察していただく環境コースにはシンガポールとバンコクの代表団が、大阪ベイエリア開発の状況を海上よりご覧いただくコースにはソウルの代表団が参加され、大阪の様々な魅力、活力にふれていただきました。



共同記者発表

するとともに、アジアのセンターとして、大阪のにぎわいづくりにつなげていきたいと考えています。



各都市代表による記念撮影

参考

- ・大阪府にぎわい創造部国際室アジア交流課
ウェブページ

<http://www.pref.osaka.jp/kokusai/asia/index.html>

今後の展望

府では、今回の「アジア主要都市サミット」で構築された「ASIA 11+1 (アジアイレブンプラスワン)」による都市間ネットワークを今後一層強化し、アジアの都市間の人、モノ、情報の交流を拡大